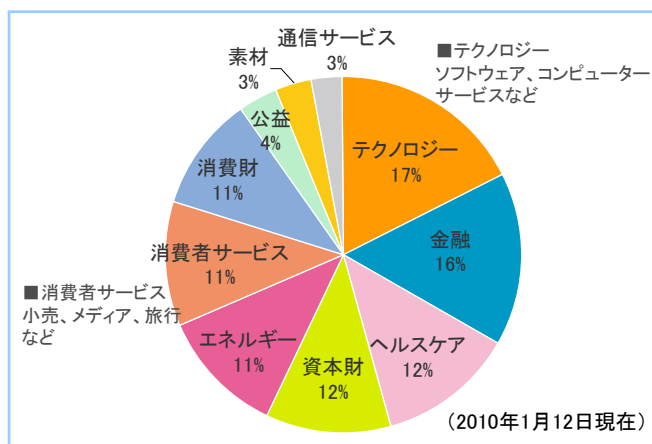


株価指数を業種別で見ると？

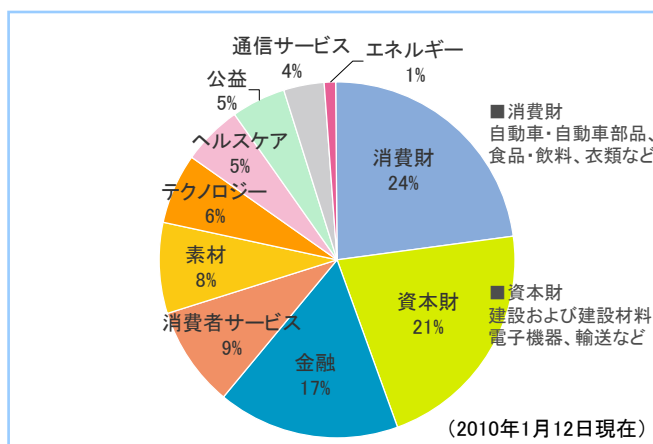
世界各国の株式相場の動きを知るために、その国を代表する株価指数の値動きが注目されています。ただ、一口に株価指数といっても、国によって構成銘柄数や構成業種などが異なるため、国毎の特徴を知ることが大切だと思われます。

下図は、米国、日本、ブラジル、中国の代表的な株価指数を業種別に表示したグラフです。これらの株価指数の動きは、構成比率の高い業種の動きに振られやすいことから、どの業種の比率が高いかを知っておくことで、株価指数の変動要因を掴みやすくなると思われます。また、構成比率の高さから、その国の経済を牽引する産業が見えてくることは大変興味深いことだと思われます。

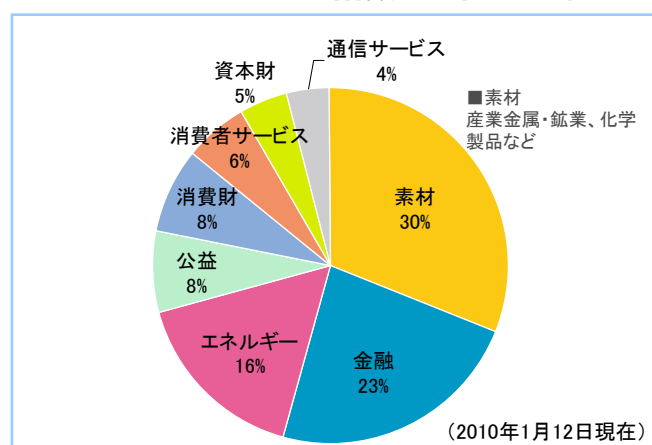
米国：S & P500種指数の業種別比率



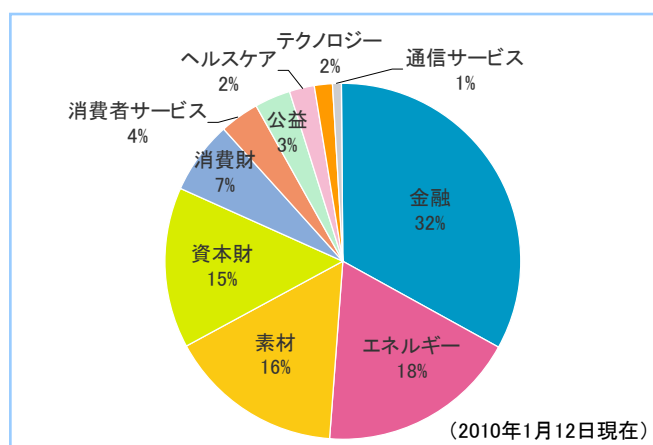
日本：TOPIX(東証株価指数)の業種別比率



ブラジル：ボベスパ指数の業種別比率



中国：上海総合指数の業種別比率



■主要な業種の解説を図中に記載していますが、各株価指数共通の解説です。

◆業種別比率は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成
※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。